

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



## 岡崎市教科・領域指導員会 合同訪問 11月14日(木)



公開授業①



公開授業②



特設授業（全職員が参観して研究の共通理解を図る）



### 11月14日(木)の日程

研究概要説明	9:40~10:15
公開授業①	10:30~11:20
公開授業②	11:35~12:25
給食	12:25~13:00
特設授業	13:20~14:10
個別指導	14:25~15:05
全体指導	15:10~16:30



### ご指導いただいた先生方

#### 岡崎市教育委員会

教育長	安藤 直哉 様
教育相談センター所長	安藤 眞樹 様
学校指導課長	太田 幹也 様
学校情報係係長	川本 祐二 様
指導主事	神谷 敦仁 様
指導主事	村田 貴志 様

#### 岡崎市教科・領域指導員

特別支援教育	鈴木 孝広 様
道徳	伴 巨裕 様
学習情報	近藤 雄一 様
社会	森田 淳一 様
理科	新 育大 様
家庭	高橋 崇子 様

## 個別指導、全体指導の会場づくりをした寮生に感謝



給食後、Y 教頭先生の指示にしたがって、寮生が個別指導、全体指導の会場の準備をしました。会議がしやすいように食堂の机、椅子の移動をしました。寮生は帰省バスの出発時刻まで、期末テストに向けての学習に真剣に取り組んでいました。

## 全体指導(特設授業に対する研究協議会と岡崎市教育委員会からの指導)



### 特設授業(3年1組社会科 F 教諭)に対する社会科指導員の森田淳一先生からのご指導

- ・3年1組のF先生の授業は、生徒も教師も見通しをもって授業に取り組み、持続性があるので、主体的な学びになっていると言えます。小集団での学習は、一人あたりの発言量が多く、挑戦的な課題であれば、アドバイス等で対話的な学びになると言えます。深い学びであるかどうかは、価値判断をして新しい見方・考え方をもつことができたかです。今回の授業で、深い学びになりつつあると言えます。
- ・生徒にとってのCRSは、Challenge(挑戦)・R(Respect)・S(Smile)で、教師のCRSはCatch(つかむ)・Responce(反応する)・String(つなぐ)です。3年1組の生徒のCRSは、挑戦的な課題(C)に、小集団で尊敬し合い合意形成をし(R)、課題解決に向かう喜びを笑顔(S)で表現していたので、主体的・対話的で深い学びになっていました。福田先生のCRSはとても効果的でした。S(つなぐ)段階をもう少し早く、短時間にできると、深い学びに発展していったと思います。S(つなぐ)チャンスは、深めていくチャンスとなります。社会科では、「～の条件がついたなら、～できる」の条件にあたる部分を考えていくことで、深い学びになっていきます。
- ・深い学びにするには、個人で考える時間の確保とセルフチェックカードの活用が大切だと思います。
- ・教師の仕事は、どんな課題をたてることができたかと、CRSによる教師の出を明確にすることです。

### 岡崎市教育委員会の先生からのご指導

- ・自分の考えを伝えやすい学習環境ができていました。一つ目は、落ち着いた学習環境。具体的には、トイレや下駄箱の整理整頓ができていました。二つ目は、温かい学習環境。黒板メッセージの担任の温かい言葉。教室掲示の教師から生徒へ、仲間から生徒への言葉、部活動の連絡黒板のメッセージがすばらしかったです。
- ・学びに向かう力を引き出すために学習環境を工夫するとよいと思います。生徒が発信したい内容の掲示。生徒に任せた掲示。授業の足跡のわかる掲示。セルフチェックカードや板書記録の掲示。これらの掲示は、教師が生徒をとらえ(C)、反応し(R)、つなぐ(S)働きとになっていくと思います。
- ・一斉授業には限界があります。小集団によるCRSは、学びに向かう力を引き出す授業づくりに効果的であることが伝わってきます。iPadを有効活用するとよいと考えます。
- ・声の大きさを工夫するとよいと感じます。2人で話すとき、3人、4人、9人、全体で話す時の声の大きさを考えさせることで、相手に伝わるように話すことも学んでほしいと思います。
- ・額田中学校の研究理論はわかりやすいです。理論を焦点化し、精度を高めていくとよいと思います。職員が共通理解をして、同じゴールに向かって進んでいってほしいと考えています。
- ・CRSの共通理解を進め、CRSの方法、手だてを一般化していくとよいと思います。
- ・教師の出を明確にし、CRSで方向性を与えるシステムをつくとよいと思います。CRSで何について話し合うのかを明確にして、課題づくりをすると主体的・対話的で深い学びにつながっていくと考えます。
- ・評価を意識した課題、目標づくりをし、セルフチェックカードとCRSの場を評価につなげるとよいと思います。
- ・CRSを実践することで、一斉授業の価値、有用性がみえてくると感じます。

令和2年度秋に額田中学校は、岡崎市教育委員会研究委嘱の研究発表会を実施予定